

# 秋田大学横手分校

## 活動報告



平成25年度

## 目次

分校長あいさつ	秋田大学横手分校長 根岸 均	1
秋田大学横手分校活動方針		2
平成25年度活動実績		3
生涯学習		3
小中高大連携		4
地域との交流		7
COC事業との連携		8
その他		9
分校長への講師依頼		9
アンケート実施内容		11
平成25年度横手分校活動状況一覧		20
秋田大学横手分校に関する新聞記事		22

# 分校長あいさつ

秋田大学横手分校長  
根 岸 均

## はじめに

3・11東日本大震災から3年過ぎました。福島第一原発事故も含め、未曾有の「国難」であり、その行く末を世界が注視しております。「世界が」というのは、決してオーバーな表現ではなく、壮大な「実験場」としてジャパンを見ているかも知れません。

この国難の克服、さらに今後、発生する可能性が高いと警告されている首都圏直下型大地震、南海トラフ巨大地震に対して、人材育成という視点から大学の役割も新たな目で捉える必要があると考えます。

環境、エネルギー、農業、医療、教育等々あらゆる面でこれからの若者は、国難と対峙しなければなりません。

ここで、論理が飛躍することは避けましょう。具体の実践は、まず「足元」からです。専門の学修やこれまで、あるいは現在も取り組んでいる活動の意義を深く探ることで、「国難の克服」との接点を見い出すことができると思いますが、どうでしょう。

## <25年度を振り返って>

(1) 横手市山内三又地区での秋田大学オフィシャル「いぶりがっこ」づくりや公開講座など、これまでの事業の継続・充実に努めた。

- ・「いぶりがっこ」づくりでは、今回、医学科の学生の参加が活動に新風を吹き込んだ。将来、地域医療に関わっていきたいという話を聞き、頼もしく応援したくなった。山内の「おばちゃんたち」も同じ思いと推察している。

- ・湯沢市、北秋田市、美郷町での公開講演会「メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト」は、医学・工学資源・教育文化3学部の先生方の「競演」による”贅沢な”講座であった。参加者の中には、昨年に引き続き、進路を意識した高校生たちの姿もあって意義ある内容となった。

(2) 教育ミニミニ実習など地域の人材育成に努めた。横手市教育委員会との連携のもと、3回目となる教育ミニミニ実習は、教師志望の高校生・大学生24名が、横手南中学校で実習の体験活動をすることで、学びのモチベーションを高めるとともに、副次的に中学生にもメリットが期待され、双方がウィン・ウィンとなり得る取り組みである。「未来の教師」のために御尽力いただいた関係の皆様へ感謝したい。

今回は、国立大学協会の事業として採択を受け、教員養成に関するシンポジウムを実施し、また、東北各地からの大学関係者、文部科学省高等教育局の担当者の参加もあって、例年以上に情報発信することが出来た。

(3) 昨年度、横手卸センターより、学生自主プロジェクトにかかわる製品を新規商品開発の候補としたいとの申し出があったが、検討意見交換会や各地での試食会などを実施し、今春、販売にこぎ着ける見通しがたった。

## <今後の課題>

- ・ものづくりの集積地として、大学との関わりを深めること。

- ・情報発信（特に、報道への働きかけ）に関して、これまでの取り組み方にこだわらず、独自の発信方法を検討したい。

# 秋田大学横手分校活動方針

## 秋田大学横手分校概要

秋田大学は、横手市との包括協定（平成21年2月7日締結）に基づき、まちづくり推進や地域産業の活性化、教育、文化・芸術の振興など本学の有する資源開放の拠点として、横手市役所本庁南庁舎（現在の条里南庁舎）へ「秋田大学横手分校」を開設した。現在は横手駅前に新設された「横手市交流センターY<sup>2</sup>（わいわい）ぷらざ」内に拠点を移し、連携の一層の「見える化」を図った。

横手分校では、横手市民や企業のニーズを受けた相談窓口の開設や、大学主催の講演会など市民や小中高校生を対象とした教育講座を展開している。また、学生が地域に入り住民と交流することで地域の活性化につなげると共に学生にとっても社会力を身につける機会となっている。

横手分校が開設されたことを契機として、地元の皆さまには本学が有する様々なシーズを最大限に活用していただき、互いに連携を深めながら地域の振興に貢献していきたいと考えている。



## 秋田大学横手分校からの発信



# 平成25年度活動実績

## 生涯学習

### 1. 平成25年度 メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト 「高齢社会を明るく元気に生きる」

(主催：秋田大学横手分校 後援：湯沢市)

実施日：平成25年8月28日(水)

会場：湯沢ロイヤルホテル 鳳凰の間

サイエンスカフェ・マスター：秋田大学大学院医学系研究科長・教授 澤田 賢一

話題提供者：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域・老年看護学講座 教授 中村 順子  
秋田大学教育文化学部教育心理学講座 教授 森 和彦

受講者数：79名

「メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト」はどなたでも気軽に医学研究の世界に触れられる場として、医学部以外の学部の教員も参加し、新たな視点で医学を捉える公開講演会である。横手分校での開催は昨年に引き続き2回目となる。

今回は「高齢社会を明るく元気に生きる」をテーマに在宅医療、心理学の観点から解説し、当日は健康への意識の高い市民の方々の他、高校生や関係業種の参加者が多数あった。



### 2. 平成25年度 高齢者の健康増進プロジェクト 秋田大学開放講座

(主催：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 協力：秋田大学横手分校)

実施日：平成25年10月26日(土)、11月2日(土)、12月7日(土)

会場：横手市交流センター Y<sup>2</sup> ぷらざ

研究代表者：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 教授 石川 隆志

運営・管理：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 助教 久米 裕

共同研究者：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学講座 准教授 佐竹 将宏  
秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻看護学講座 准教授 長谷部 真木子  
秋田大学大学院工学資源学研究科情報工学専攻 教授 水戸部 一孝  
秋田大学教育文化学部附属教育実践研究支援センター 教授 柴田 健

受講者数：15名(定員)

「元気な高齢者のいる社会・地域づくり」推進のため本学3学部が連携し、それぞれが有する健康増進に関する教育・研究を生涯学習として地域に還元することを目的に開催した。

講座では講話の他、実際に検査を行い、受講者は日々の生活を見直すよい機会となったようだった。



### 3. 平成25年度 秋田大学 地域志向研究事業 特別公開講座「琴と箏」

(主催：秋田大学教育文化学部音楽教育講座 共催：秋田大学横手分校)

実施日：【横手会場】平成26年3月15日(土)、【秋田会場】平成26年3月16日(日)

会場：【横手会場】横手市交流センター Y<sup>2</sup> ぷらざ

【秋田会場】秋田大学 VBL 2階大セミナー室

講師：秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 武内 恵美子

特別講師：秋田県生田流箏曲清弦会三代目家元 足達 清賀 氏

國學院大學北海道短期大学部 非常勤講師 山寺 美紀子 氏

受講者数：50名

琴と箏のそれぞれの楽器の歴史、構造、音楽的特徴について、演奏を交えて解説した。また、受講者が実際に楽器に触れる時間も設けた。

最後には特別講師による楽器の実演もあり、参加者は琴と箏の音色の違いを楽しみ、その違いについて知ることができたようだった。



## 小中高大連携

### 1. 中学生モデルロケット秋田県大会2013

(主催：中学生モデルロケット秋田県大会実行委員会 共催：秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター 後援：秋田県教育委員会、能代市教育委員会、秋田市教育委員会、横手市教育委員会、社団法人日本機械学会東北支部、秋田大学横手分校)

今年度より、能代宇宙イベント内の中学生向けコンテンツとして、「中学生モデルロケット秋田県大会」が実施されることとなり、県内3箇所において大会に向けた講習会を開催した。

横手分校は県南会場を調整。その会場となった横手高校においては、高校生対象であるロケット甲子園の概要も交えた大会説明やモデルロケットの基本的な製作方法の指導が行われた。

大会当日は突然の雨に見舞われ中止となったが、10月27日(日)に延期開催することとなり、能代東中学校を会場に横手市からは横手北中学校が参加した。

#### 【モデルロケット製作講習会兼ロケット甲子園説明会】

実施日：平成25年7月5日(金)

会場：横手高等学校

講師：秋田大学大学院工学資源学研究科附属

ものづくり創造工学センター 講師 和田 豊

受講者数：横手市内中学生6名、高校生15名、教員9名

#### 【中学生モデルロケット秋田県大会】

実施日：平成25年8月25日(日) ※雨天により延期

会場：能代宇宙広場

参加者：横手南中学校(3チーム計9名)、横手北中学校(2チーム計5名)





## 2. 平成25年度 大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」

(主催：秋田大学横手分校 後援：秋田県教育委員会、横手市教育委員会)

将来教職を目指す大学生・高校生が5日間にわたり中学生と交流する事業である。参加学生・生徒が、中学生への学習指導補助等のプログラムを通し、自己の適性を知り、学びのモチベーションを高めるとともに、ひいては本県における優れた教員養成・育成サイクルの一助となることを期待して実施するものであり、今年度で3度目の開催となる。

基本となる活動内容は、これまでと同様に実習先である横手南中学校の活動に準じた内容で実施したが、伊藤前校長(現横手市教育委員会教育長)よりご提案をいただき、今回初めてひきこもり、ニート経験者との懇談会を実施した。また、保護者との懇談会には地域の企業経営者の方にもご協力いただき、懇談の内容も幅広いものとなった。

なお、実習最終日は国立大学協会が募集する「平成25年度大学改革シンポジウム」一日目のプログラムとしても実施され、同シンポジウム参加者が実習の様子を視察した。

### 【事前オリエンテーション】

〈高校生対象〉

実施日：平成25年11月30日(土)

会場：横手市交流センターY<sup>2</sup>ぷらざ 3階 研修室3

〈大学生対象〉

実施日：平成25年12月12日(木)

会場：秋田大学学生支援棟 2階 ミーティングルーム

### 【実習授業の事前練習会】

実施日：平成26年1月5日(日)、6日(月)

会場：横手市交流センターY<sup>2</sup>ぷらざ 3階

### 【大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」】

実施日：平成25年12月26日(木)、27日(金)

平成26年 1月 8日(水)～10日(金) 計5日間

実習先：横手市立横手南中学校

実習生：横手・湯沢市内高校(横手高校、横手城南高校、横手清陵学院高校、増田高校、湯沢高校)より21名、秋田大学(教育文化学部)より3名 計24名

活動内容：①補習等において各教科指導の補助的活動

②部活動や特別活動における補助的活動

③実習授業(1人40分)

④地域の方との懇談会



### 3. 平成25年度大学改革シンポジウム

#### 「地域力を生かした教員養成システム～“教員養成秋田モデル”&横手分校の取り組み～」

(主催：秋田大学 共催：(一社)国立大学協会 後援：秋田県教育委員会、横手市教育委員会)

本学では、これまで“教員養成秋田モデル”発信プロジェクトに取り組み、教育実習の強化、教育実践力の育成を図ってきた。また、横手分校では、関係機関との連携及び地域の協力により、教職希望の高校生・大学生を対象に、地元中学校において「教育ミニミニ実習」を実施している。本シンポジウムは、大学と地域の協働による教員養成システムについて、秋田から意義ある教育情報を全国に発信することを目的に開催した。また、同事業は国立大学協会が募集する事業であり、秋田大学は4年連続の採択となった。

#### 【教育ミニミニ実習視察】

実施日：平成26年1月10日(金)

会場：横手市立横手南中学校

#### 【平成25年度大学改革シンポジウム】

実施日：平成26年1月11日(土)

会場：横手プラザホテル 慶雲の間

参加者数：50名

#### 基調講演

「高大連携の教育システムと地域振興」

東京国立博物館長 銭谷 眞美 氏

#### パネルディスカッション

「初等中等教育を担う教員の質の向上と大学における実践的な学修の強化について」

#### コーディネーター

秋田大学横手分校長 根岸 均

#### パネリスト

福井大学大学院教育学研究科教授 松木 健一 氏

秋田大学教育文化学部教授 神居 隆

秋田県立湯沢高等学校長 小西 弘高 氏

横手市教育委員会教育長 (元横手市立横手南中学校長) 伊藤 孝俊 氏





## 地域との交流

### 1. よこてイーストY<sup>2</sup>(わいわい)プロジェクト事業「エコライフフェスタ25」

(主催：横手駅前商店街振興組合・(一社)平鹿建設業協会 協力：横手清陵学院中学校・高等学校、増田高等学校、まなびの総合エリア、あきた・まなVIVA!創造塾、県立農業科学館、秋田県地球温暖化防止活動推進センター、秋田大学横手分校)

実施日：平成25年8月3日(土)、4日(日)

会場：よこてイーストにぎわいひろば

横手市交流センターY<sup>2</sup>ぷらざ

参加者数：3日：319人 4日：345人

エコライフフェスタとは、環境をテーマに秋田県が取り組む環境事業の紹介を始め、環境に関連した様々な展示、ワークショップなど家族で楽しめる体験型イベントである。

横手分校ではこのイベントの主旨・意義に賛同し、平成23年度より協力を行っており、今年度も前回の協力校である横手清陵学院中学校・高等学校、増田高等学校に参加を依頼した。また今年度も、NPO法人あきた・まなVIVA!創造塾、秋田大学まなびの総合エリアプロジェクトの協力を得て、「小学生向け『楽しい科学教室』」を実施した。



### 2. 秋田大学オフィシャルいぶりがっこ「いぶりばでい」づくり

平成21年度より3年間実施された「秋田大学オフィシャルいぶりがっこ製造プロジェクト」から誕生した本学オリジナルのいぶりがっこ「いぶりばでい」を引き継ぐため、今年度も有志の学生を募って活動を行った。

今年度は事前説明会を実施し、これまでの活動を学ぶことで知識を補完してから実践に入った。大根の収穫、漬け込みから販売までの一連の作業はこれまでと同様に実施した。

平成25年

10月21日(月) 「いぶりばでい」についての事前説明会

10月26日(土) 大根収穫・漬け込み作業 1回目  
～27日(日)

11月13日(水) 横手かまくらFMへの出演

11月17日(日) 大根収穫・漬け込み作業 2回目

平成26年

1月26日(日) 樽開け作業

2月16日(日) 製品出荷準備作業

3月 5日(水) 県内スーパーへ販売のあいさつ

3月 7日(金) 県内スーパーで販売開始

3月 8日(土) 店頭で来客者に向け活動をアピール



### 3. 横手市山内三又地区の冬祭り「雪中運動会」への参加

実施日：平成26年2月23日(日)

会場：三又コミュニティーセンター

秋田大学オフィシャルいぶりがっこづくりで交流のある横手市山内三又地区において開催された「第34回三又地区雪中運動会」に秋田大学生5名が参加した。同行事への秋田大学生の参加は今回で2回目となる。

学生が参加することで地域の盛り上げに貢献すると共に、学生にとっても地域の人々との交流を通して社会力を育成し、地域の生活への理解を深める機会となった。



## COC事業との連携

### 平成25年度「地(知)の拠点整備事業(COC事業)『聞き書きボランティア』」

「地(知)の拠点整備事業(COC事業)\*」の一環として、横手市において高校生を対象とした「聞き書きボランティア」が実施された。

「聞き書き」とは、高齢者の話を聞いて記録し後世に残すことを言い、高齢者から庶民の歴史など様々な事柄を学ぶと共に、話すことで生きがいを持ってもらうことを目的としている。

横手分校では、横手城南高校、平成高校にご協力いただき、聞き書きから冊子を作成するまでの知識、手法を高校生の世代から習得してもらうためのモデルケースとして取り組んでいる。

※「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」とは…平成25年度の文部科学省の新規重点補助事業で、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成を目指すことを目的としている。

25年度は、全国319件(342校)の大学等が申請し、秋田大学は52件(56校)の採択校の一つとして選定された。

#### 【事前研修会】

実施日：平成25年11月21日(木)

会場：横手市交流センターY<sup>2</sup>ぷらざ 1階 オープンスペース

講師：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域・老年看護学講座 教授 中村 順子

受講者：横手城南高校生23名、平成高校生5名、関係者13名

#### 【聞き書きボランティア】

平成25年

12月22日(日) 横手城南高校1回目ボランティア

平成26年

1月28日(火) 横手城南高校1回目の冊子贈呈

平成高校1回目ボランティア

2月20日(木) 平成高校1回目の冊子贈呈・2回目ボランティア



## その他

### 1. 新エネルギーセミナーinあきた2013～地中熱の利活用～

(主催：秋田県、横手市 後援：秋田大学横手分校)

実施日：平成25年7月1日(月)

会場：横手市平鹿生涯学習センター

第1部講師：秋田大学大学院工学資源学研究所

地球資源学専攻地球システム工学講座 教授 藤井 光

受講者数：200名

再生可能エネルギーとして注目されている「地中熱」の利用に関するセミナーにおいて、第1部では本学藤井教授が「地中熱利用のしくみと実用例」と題して講演した。

第2部では暖房機器等を取り扱う事業者からの事例紹介を行い、最後の質疑応答の時間には受講者から積極的に質問があがった。



### 2. 2013年度東北都市学会 横手大会

(主催：東北都市学会、横手市 共催：日本都市学会 協力：秋田大学横手分校)

実施日：平成25年9月21日(土)、22日(日)

会場：横手市交流センターY<sup>2</sup>ぷらざ

参加者：21日：50名 22日：20名

初日は「子育て支援と地域力」をテーマにシンポジウムが開催され、横手市副市長より基調講演を、また、東北大学大学院教授をコーディネーターに横手市のNPO法人代表や市職員を交えたパネルディスカッションを実施した。

翌日はまちづくりなど都市に関連した8つのテーマにより、会員による研究発表会が行われた。

横手分校は本大会の実施・運営に協力した。



## 分校長への講師依頼

### □ 平成25年度秋田大学初年次ゼミでの講演

実施日：平成25年4月23日(火)

会場：秋田大学 教育文化学部 3号館255教室

対象：教育文化学部1年次生

内容：職業観育成について～教職について考える～

□ **平成25年度旭交会総会での講演**

実施日：平成25年6月3日(月)  
会 場：松興会館  
対 象：旭交会員  
演 題：「教育立県 秋田をめざして」

□ **協同組合横手卸センター創立40周年記念講演会**

実施日：平成25年6月27日(木)  
会 場：横手セントラルホテル  
対 象：組合員  
演 題：「皆でかかわって人材育成を！」

□ **秋田県立大学教職科目「教職実践演習」での特別講師**

実施日：第1回 平成25年11月1日(金)、第2回 平成25年11月8日(金)  
会 場：第1回 秋田県立大学本荘キャンパス、第2回 秋田県立大学秋田キャンパス  
対 象：教職科目「教職実践演習」を受講している学生  
演 題：「教師の役割と職務内容」

□ **公益社団法人本荘法人会青年部会**

**税を考える週間協力行事「法人会講演会」での講演**

実施日：平成25年11月11日(月)  
会 場：本荘グランドホテル  
対 象：法人会会員及び一般  
演 題：「経営と教育の接点」

□ **平成25年度次世代地域活性化リーダー養成プログラム「きたまえ塾」**

(主催：秋田大学、東北公益文科大学)

実施日：平成25年11月23日(土)、24日(日)  
会 場：増田地区多目的研修センター  
対 象：秋田大学、東北公益文科大学の学生  
内 容：学生が企画・提案した増田町の町おこしのアイデアについて、その成果発表の講評

□ **琉球大学教育学部附属教育実践総合センター地域連携事業部門報告会での特別講演**

実施日：平成26年3月1日(土)  
会 場：琉球大学 大学会館 3階特別会議室  
対 象：行政関係者、学校教員、琉球大学教員・学生等  
演 題：「秋田県の学力向上について」

## アンケート実施内容

- ・平成25年度 メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト「高齢社会を明るく元気に生きる」
- ・平成25年度 大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」



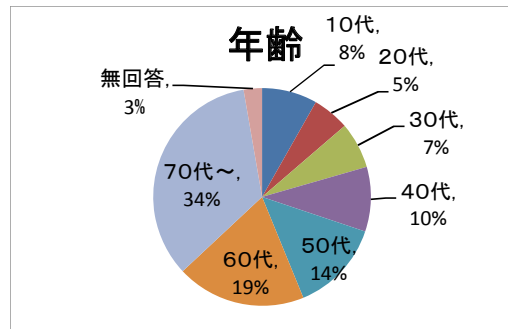
# メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト

## 参加者アンケート集計結果

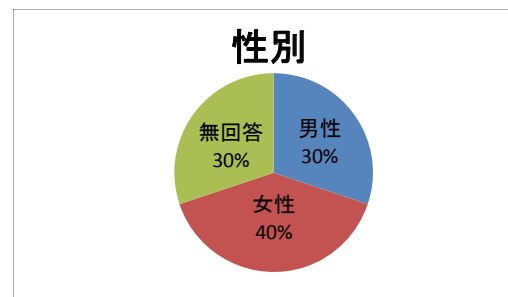
参加者数	97 名	回収数	73 名	回収率	75.3 %
------	------	-----	------	-----	--------

### 1 年齢, 性別

	回答数
10代	6
20代	4
30代	5
40代	7
50代	10
60代	14
70代～	25
無回答	2

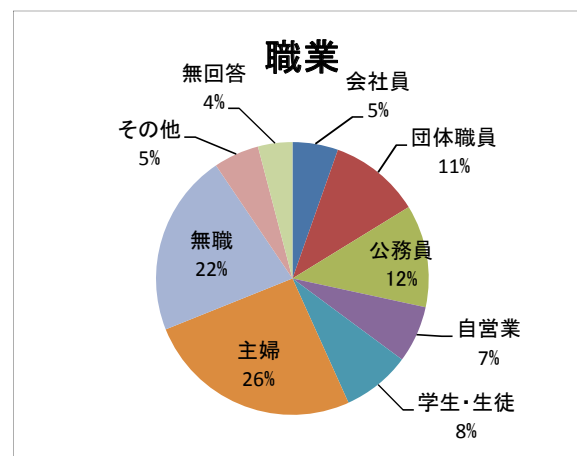


	回答数
男性	22
女性	29
無回答	22



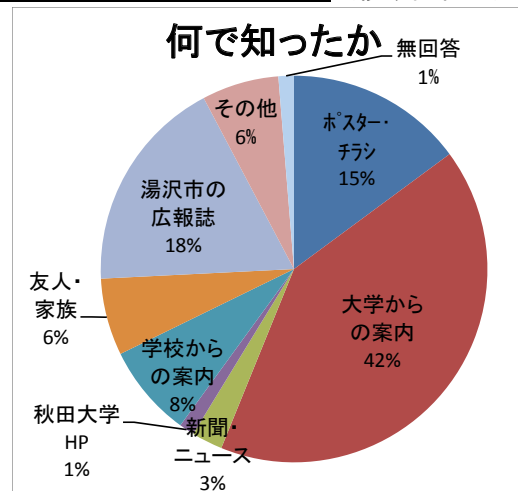
### 2 職業

	回答数
会社員	4
団体職員	8
公務員	9
自営業	5
学生・生徒	6
主婦	18
無職	16
その他	4
無回答	3



### 3 「メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト」をどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可)

	回答数
ポスター・チラシ	11
横手分校からの案内	32
新聞・ニュース	2
秋田大学HP	1
学校からの案内	6
友人・家族からの情報	5
湯沢市の広報誌	14
その他	5
無回答	1



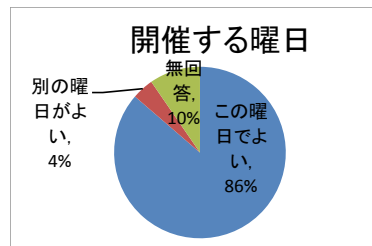
(ポスター・チラシを目にした場所・その他)

・職場(2人), Y<sup>2</sup>がらぎ, 大森図書館, 青少年ホーム, 学校, 湯沢市役所

4 (1)開催する曜日について教えてください。

	回答数
この曜日でよい	63
別の曜日がよい	3
無回答	7

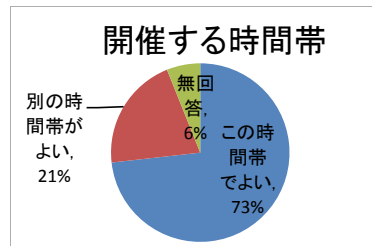
(具体的に) ・金曜日, 土曜日(2人)



(2)開催する時間帯について教えてください。

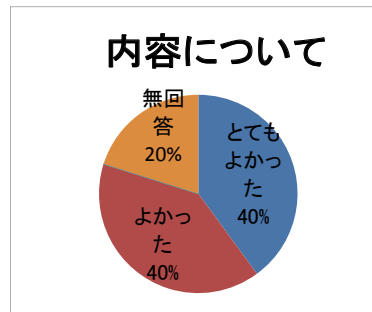
	回答数
この時間帯でよい	53
別の時間帯がよい	15
無回答	5

(具体的に) 午前中, 13:00~(3人), 13:30~(3人), 14:00~(2人), 15:00~, 16:00~, 18:00~



5 今日の実施内容はいかがでしたか。

	回答数
①とても良かった	29
②良かった	29
③ふつう	0
④あまり良くなかった	0
⑤良くなかった	0
⑥無回答	15



6 本日の感想を自由にお書き下さい。(原文のとおり)

今回はこのようなたくさんの方の知らないことを教えてもらえてよかったです。看護についてもっと勉強してたくさんの方に関わってみたいです。
今後看護を目指している身として、大変参考になりました。
在宅看護などこれからの介護・看護に必要なことがわかりました。また、森教授のお話では共感することがたくさんあり、集中力を切らさずにするためのお話しでは参考にしたい部分があったので、これからの生活で試していきたいです。
沢田先生、中村先生のお話がとても良かった。市民の目線で丁寧に話して下さいました。
自分だけきくのがもったいない、もっと多くの方から聞いてもらいたいですね。PRの仕方を参加者も考えることでは…と思う。
75歳の母と同居しているので、今後の接し方として今以上にたくさんおしゃべりをしていこうと思いました。注意して、意識して行動することの大切さを感じました。
自分は物忘れがひどく「注意力…」が参考になりました。
大学で心理学を専攻しておりましたので、森先生のお話はもちろん、人と密接に関わる看護の専門家である中村先生のお話でも大変興味深く聞かせていただきました。祖父が在宅介護を希望しましたので、亡くなるギリギリまで自宅で介護しました。定期的に訪問してくれる看護師さんの存在、とても心強かったと家族が言っていました。今日の話聞いて、最期も家で過ごせたら…。お家大好きな祖父でしたのでそう思いました。まだ若いですが、自身のQOLも見つめ直したいとも思いました。森先生の講演では「やっぱり心理学っておもしろい!」「人間っておもしろい!」と再認識できて、大学時代の授業や経験を懐かしく思いました。これを専門的に学習することはもうないかと思いますが、これからは生涯学習として心理学を勉強し続けたいと思います。自分の興味関心の強い話を聞いて「自分を大切に、自分自身を知る」きっかけになりそうです。今日は本当にありがとうございました。
本日は大変貴重なお話しを聞くことが出来ました。介護についてはお話しにありましたが、お互いの思いがうまく伝わらないことが多く、ぶつかることがあります。もっと高齢者の気持ちを意識して、これからのことを考えなければいけないと改めて思いました。気が短いのが病気でなくて良かったなあ。とても勉強になり、ありがとうございました。
森先生の話は少しむずかしいと思った。もっとくだけた内容の話がいいのではないかな。

講師のお二人の話が大変わかりやすく、たのしく聞くことができました。進行役の澤田先生のムードがやわらかく、ほぐれた気持ちでいられました。“注意”のはなしはこれまでにないテーマだったので興味深くききました。この分野への理解が広める、深まることは人を理解したり許容できるきっかけになると思いました。
今まで聞いた事の無い話などたいへん良かった。
森教授のお話は理解がむずかしかった。時間をもっと欲しかった。又このようなチャンスが与えられると…思います。中村教授のお話は自分の身に関わるので切実であった。
高度な講座を企画いただきありがとうございます。このような機会を定期的な開設を願います。
一日24時間生活を計画をたてその日を過ごすこと。その為には多少の社会に、他人にも迷惑を掛けながら生きていったらよいでしょう。指差呼称がぼけ防止に。
とてもわかりやすく楽しく講座聴くことができました。ホテルというホールにも気分よく贅沢な講座、しかも無料に感謝します。横手から来たかきがありました。
聴いている方々から沢山考えが出て、先生方からの話のみだけではなかったのが楽しかったと思います。
人の事のように考えていましたが、真剣に取り組みたいと思います。
みじかい。休み休み2時間以上必要。
もっと在宅医療(訪問医療)の充実が必要ではないか。
短い時間でしたが、とても濃い内容で勉強になりました。
また開催してほしい。ディスカッションがよかった。
高齢社会を明るく元気に生きるをテーマにとっても関心のある問題でした。「死ぬまで元気にピンピンコロリ」誰もが願うところだと思います。日々の暮らしの中で共につながりを大切に地域での助け合いが重要視されてきていると思います。とても良い時間をすごしました。
民生委員をやっている私としては担当地区の老人をいかにして施設に入れるか考えて来ました。これから考えなおしたい。とても参考になった。話がおもしろかった。
勉強になった
この地域では訪問看護師さんは忙しくいっぱいいっぱいという話を聞くが…。森先生の資料は全部紙ベースであると良いと思います。時間も短すぎです。森先生の話、とても楽しく暮らしに役に立つと思いました。楽しかったです。
中村先生の「訪問看護を上手に利用して家で看取った方がいい」というお話し、とても参考になりました。森先生の専門用語を多用されながら分かり易いお話し面白かったです。
私も73才でもふれ合い塾や集まりの場に1ヶ月4日位している。あることないこと話して楽しいです。
大変参考になりました。
中村先生の講義すばらしかった。勉強になりました。
興味深い内容で非常におもしろかった。
学問的な内容の講演だったので、研究にはいいと思うが、できれば実際的な対応も学んでいきたい。「どうすればいいのか」
今後も是非参加したいし、これが老人の勉強として今後に向けて行き度く思います。
中村順子教授、森和彦教授、澤田賢一教授、講座を継続して頂きたいです。
中村先生のお話が大変面白かったです。わたしは神奈川で生まれ育ちました。湯沢にきてから「若者に元気がない」という話をよく耳にします。特に50~60代くらいの方々がおっしゃっている印象です。ですがわたしからすれば「彼らが元気すぎるだけなのではないか？」と思うのです。神奈川と比すれば秋田の(少なくとも湯沢の)お年寄り元気です。それと“つながり”には大きな関係があるのではないかと思います。
初めての参加ですが大変有意義で現在自分の中でのなやみも非常にいやされる部分もございました。有難うございました。
つながりを持ち、相手のニーズに合わせて生活していくことが大切だということがとても印象に残りました。看護師というと病院で働くイメージが強かったのですが、在宅介護といった面でも患者さんとの関わりを持ち地域社会に貢献するというのは今後の社会を考えていく上で重要な点であると思いました。実際に会場にいらっしゃった方のお話を聞くと深い話など生の声が聞けて高齢者の方が不安としている部分についても知ることができ、よい機会となりました。
今まで聞いたことのないお話しを聞けてよかった。自分の将来に生かせるようなお話しが聞けたので生かしていきたい。特に在宅介護の話はこれからの秋田にとっては必要だと思った。
大学の講義を聞いている様でとても有意義でした。次回もぜひ参加したいと思います。
講演時間が短く注意散漫でさすがにきちんときけました。が、森先生のレジュメはもう少し詳しく準備してもらえたらと思いました。
市民の方のさまざまな意見が聞けて、今後の業務の参考になりました。笑い、拍手あふれる意見交換で先生達がとても身近に感じられました。ご丁寧な回答とてもありがたく感じました。
注意とは何かがとてもよかった。
私も高齢ですが、まだ必要な存在と居ります。人間は最後まで勉強が必要と居ります。秋田大学分校に感謝して居ります。

日頃よりケアレスミスが多く“注意”に関する話は非常に参考になった。興味のあることないことで集中力がまったく違うので、なんとか是正していきたい。
医療介護と生活介護(ヘルパーによる)をうまく活用し、更に介護で自宅療養が望ましいと考えるのですが…。
専門の先生の話をもっと直接聞くことはとても楽しい。また、開催してください。
専門の研究者のお話が聞ける機会があつてよかった。
在宅介護と在宅医療(訪問)は、高齢者にとって重要課題。大学医学部と住民の交流が大切なので、定期的な開催が望まれます。
看護と介護の違いと在宅介護の必要性と重要性、高齢者へのつながり、情報、場の提供大変に勉強になりました。ありがとう。
かなりの重さをもって聞かせて戴きました。もっと多くの人々に聞かせてあげたいです。周囲にたくさん悩んでいる人がいますが、なかなか出て来ません。
様々なお話しが聞けてよかったです。
もっとゆっくり先生の話が聞きたかった(20分は短い)
お二人の先生方、本日はありがとうございました。今日思ったことはとにかく元気でこれからは生活していく努力をしたいということです。介護を受ける日ができるだけ遠いことであるように。森先生のお話、とてもおもしろかったです。何となくほっとしました…。(自分のメンタルヘルスの的に)帰ったら主人に報告致します。おしゃべりが有効ですね。
質疑応答の時間が皆さんのお話を聞く良い機会になりました。先生方の答えもわかりやすく、良い勉強になりました。
今回の参加者が、学生、高齢者と幅広い方々がいたことでいろいろな質問から学べたこともありました。ありがとうございました。
・中村先生～とてもわかりやすかった。 ・森先生～残念ですが高齢者にとっては早口でしかも専門用語が多くてとてもこまりました。どうしたことでしょう。「カタログ思考」ではないゾ。
1) 森先生のお話から、自分の性格を改めて確認することが出来、楽しかったし、今後にも(生きる場で)生かして行けそう！！ 1) 中村先生には具体性を期待したが残念！
100才を越えた父と同居しています。(要介護3)時々、ショートステイに行かせていますが、ふだんは自分で何もせず気ままに生きています。世話をする方はけっこう辛いのですが、今日のお話しを伺って世話をさせてもらうことに誇りが持てる気がしました。これからは旅行などの気分転換を計りながら父のおだやかな最後をみとりたいです。
在宅療養、介護も分かっていますけれど、老々世帯だとどうにもならない事もあります。

7 今後横手分校で行ってほしい講座や講演会がありましたら、ご意見をお願いいたします。(原文のとおり)

看護
在宅医療、往診、ターミナルケアを頑張っておられる先生の講演をお願いしたい。
文化についての話の機会を。高齢化問題については継続的に。
心理学…と言うか難しい内容ではなく人の心を知る事など。
「古代史について」お願いしたいと思います。
縄文、弥生～奈良時代の間の歴史について。
秋田の小中学生が学力日本一であるのはなんで？その秘密があれば知りたい。
毎回楽しい講義ですのでもうすこし長くてもいいかと思えます。
・雪国の街作りについてー高齢者がつながれる都市計画ー
・世代を超えたコミュニケーションの仕方
環境問題について
環境問題について
カラオケ、ダンス
絵画に興味あり。趣味の面でもあったらありがたいです。
講演会をインターネット等でLive配信してほしいと思いました。
放射能に関わる講演
世界情勢の分析(韓国・中国)問題について
不眠について。
湯沢市の発展に関する事。
「環境問題」
子どもの教育について
高齢者の生き方、過ごし方についてが一番良いと思えます。
高齢者でも住みなれた場所で暮らしていけるような環境、例えば雪の問題等にも。
有り難いと思う。現在仲間と短歌、俳句、川柳、絵手紙を楽しんでいる。身の歴史書道も学びたいが時間不足か。
秋田は今年も日本一の学校子供達の成績で誠にうれしく頼もしい限りです。家庭が暖かいからでしょう。子供達に義理人情、思いやりを教材として是非教育して欲しい。そして老人の言い分もよく聞く事も大切であることを教材として是非お願いしたいです。ありがとうございました。
「笑いの力」笑顔はどんな時でも大切と思っております。泣いたりおこったりとで最後は笑顔と考え、自分に言い聞かせてます。ネガティブ(99%)からポジティブ(1%)に…です。
文化資源について
看護や助産師について。
時局講演会などして欲しい。森教授の講演も大変に大事です。3名私は忘れないし更に努力します。
地域おこしに関する事「聞き書きボランティア」について
終わりの時間はなるべく早くして欲しいと思えます。
・林新太郎先生のキッチン火山実験(子どもを対象に)
・国際資源学部について
地域づくりに関すること
文化人の講演
わかりやすい経済の話、文学の話
時事問題～くわしく、わかりやすく解説してほしい。

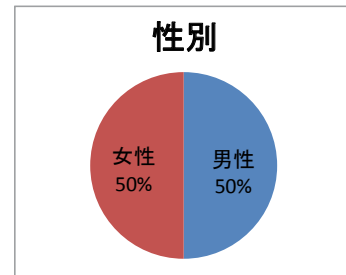
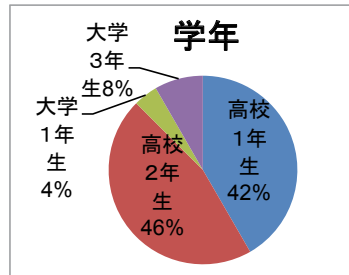


平成25年度 大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」  
参加者アンケート集計結果

参加者数	24 名	回収数	24 名	回収率	100.0 %
------	------	-----	------	-----	---------

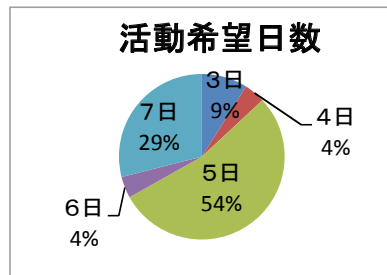
実習先	横手市立横手南中学校
実習期間	平成25年12月26日(木)～27日(金) 平成26年 1月 8日(水)～10日(金) 計5日間

回答者	男性	女性
高校1年生	4	6
高校2年生	7	4
大学1年生	0	1
大学3年生	1	1
合計	12	12



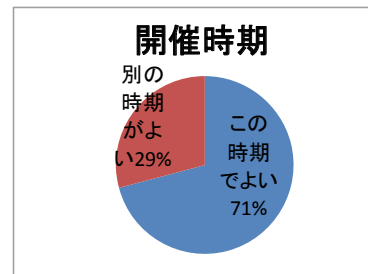
1 活動する日数は何日くらいがよいと思われましたか。(自由回答)

	回答数
3日	2
4日	1
5日	13
6日	1
7日	7



2 開催時期はどうでしたか。

	回答数
この時期でよい	17
別の時期がよい	7

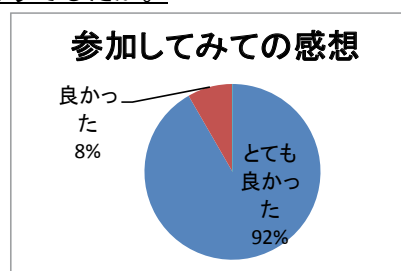


↓具体的に…

- ・冬は雪が降るし、部活も忙しいから
- ・冬は少し厳しかったので、秋や春が望ましいと思う
- ・交通機関に支障が出ない夏期の方が良いと思います
- ・春か秋
- ・夏休み
- ・8月～9月、3月
- ・秋くらいの交通に不便がないとき

3 「教育ミニミニ実習」に参加してどうでしたか。

	回答数
とても良かった	22
良かった	2
ふつう	0
あまり良くなかった	0
良くなかった	0



4 「今回の活動内容で良かった点、改善して欲しい点がありましたらお書き下さい。」

(原文のとおり)

良かった点

教材作成が前日までかかってしまいましたが、その分準備万端にすることができたので良かったです。
先生の色々な面を見ることが出来た。積極性が養成された。
<ul style="list-style-type: none"><li>・事前の連絡がしっかりしていてスムーズに活動できた。</li><li>・授業の事前練習会は実習生にとってありがたかった。</li><li>・懇談は様々な意見交換をすることができ、来年以降も是非開いてほしい。</li></ul>
2つの懇談にとっても興味をもった。普段絶対話すことのできない方々との交流がとても新鮮で、実習授業以上のインパクトを受けた。
<ul style="list-style-type: none"><li>・先生の立場から生徒のことを見れたこと。</li><li>・将来のことである程度イメージを固められたこと。</li></ul>
今回の企画全てが自分にとっては刺激的で、自分のプラスになったと感じています。
懇談Ⅰです。教師が生徒にとってどうあるべきかなどを考えさせられ、より将来の夢をかなえたいという気持ちが強くなった。
補習では3年生、授業では1・2年生というように様々な学生の人と交流できた点。
<ul style="list-style-type: none"><li>・不登校やニートを経験した方々との懇談会。</li><li>・保護者、企業経営者の方々との懇談会。</li></ul>
実習の指導案で担当の先生が丁寧なご指導をして下さったことです。
懇談会で様々な話が聞けたこと。実際に授業をして今後活かせる活動ができたこと。
横のつながりが持てたこと。
<ul style="list-style-type: none"><li>・人として成長することができました。</li><li>・考える視野を拡大できた。</li></ul>
懇談の内容が非常に充実していた。生徒とのふれ合いが多かった。
普段体験できないことを多く体験できた。
<ul style="list-style-type: none"><li>・40分自分の授業をすることができたこと。</li><li>・懇談会で様々な方の意見を聞くことができて自身の視野の広がりにつながったこと。</li><li>・生徒や実習生、職員の方々、視察に来られた方々と接することができ、たくさんのお話を聞くことができたこと。</li></ul>
実習授業はとても勉強になったし、その前の学習支援もいいウォーミングアップになったと思う。今回は指導案の担当の先生も1人1人決まっており、詳しく打ち合わせできたことも良かった。また、懇談会はⅠ、Ⅱともそれぞれ普段関わることのない人々で貴重な話を聞くことができた。
懇談会がとても良かったです。
ほとんどの3年生と交流できたので良かったです。
質問教室に参加できた点。
懇談Ⅰを来年からも続けてほしい。 実習準備期間が長くて助かった。
<ul style="list-style-type: none"><li>・この実習で母校の横手南中学校へ戻って来れたこと。</li><li>・先生という立場から母校の後輩を生徒として見れたこと。</li><li>・懇談会Ⅰ、Ⅱで様々な人から色々な角度からの話が聞けたこと。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・いろんな人と出会ったことで、コミュニケーション能力があがったと思えたこと。</li><li>・貴重な体験(懇談)ができたこと</li></ul>
将来の夢が明確になって良かった。

改善してほしい点

控え室がやや狭く、作業するのに支障をきたした。
懇談を活動期間の前半に持ってきてもらおうと、生徒と接する時に、「教師の理想像」をイメージしながらよりうまく関わることができたと思う。
質問教室などでやることや使うプリントを前日にしっかりと決めて伝えてほしい。
懇談Ⅱです。もう少し長く時間をとってほしかったです。もっと深く話合いたかった。
実習授業の時間を50分にしてほしい。
質問教室にて、何をやるのか、何のプリントを使うのかを具体的に知りたい。
事前に渡っていたプリントと質問教室で扱ったプリントが異なっていた。
もう少し授業をするクラスとのかかわりが欲しかった。
実習授業の時間がもう少しほしかった、授業の前まで1・2年生と関わる機会ももう少しあれば良かったなと感じた。
すこしハードなスケジュールだったので、日程を少しふやしてその分生徒と関われたらいいなと思いました。
もう少し1・2年生と交流したかったです。
実習授業で扱って欲しい内容を担当の先生が前もって決めるべきだと思う。
<ul style="list-style-type: none"><li>・南中の先生方との交わりがもっと多かった方が良かった。</li><li>・質問教室の時のプリントが違っていたところ。</li></ul>
質問教室で使うプリントを変更しないでほしい。

# 平成25年度横手分校活動状況一覧

月	日	活動内容	会場	対象者	参加人数	担当教員・担当部局	主催等
4月	23日(火)	平成25年度秋田大学初年次ゼミでの講演	秋田大学教育文化学部3号館255教室	秋田大学教育文化学部1年次生	70	横手分校 分校長 根岸 均	秋田大学就職推進課
6月	3日(月)	平成25年度旭交会総会での講演	松興会館	旭交会会員	40	横手分校 分校長 根岸 均	旭交会
	27日(木)	協同組合横手卸センター創立40周年記念講演会	横手セントラルホテル ラポート 2F	組合員	110	横手分校 分校長 根岸 均	協同組合横手卸センター
7月	1日(月)	新エネルギーセミナーinあきた2013～地中熱の利活用～	横手市平鹿生涯学習センター	どなたでも	150	第一部講師:秋田大学大学院工学資源学研究所地球資源学専攻地球システム工学講座教授 藤井 光	主催:秋田県、横手市 後援:横手分校
	5日(金)	中学生モデルロケット秋田県大会2013 モデルロケット製作講習会兼ロケット甲子園説明会	横手高等学校	中学生、高校生、教員	21 (学生) 9 (教員)	秋田大学大学院工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター 講師 和田 豊	主催:中学生モデルロケット秋田県大会実行委員会 後援:秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、能代市教育委員会、横手市教育委員会、横手分校
8月	3日(土) 4日(日)	よこてイーストY <sup>2</sup> (わいわい)プロジェクト事業「エコライフスタ25」	横手市交流センターY <sup>2</sup> ぶらざ、よこてイースト	どなたでも	3日 319 4日 345	科学教室:秋田大学教育文化学部教科教育学講座 准教授 石橋 研一	主催:横手駅前商店街振興組合(社)平鹿建設業協会 協力:横手清陵学院中学校・高等学校、増田高等学校、まなびの総合エリア、あきた・まなびVVA、郡達堂、県立農業科学館、秋田県地球温暖化防止活動推進センター、横手分校
	25日(日) ※10月27日(日)に延期	中学生モデルロケット秋田県大会2013	能代市宙広場	中学生	14 (5チーム)	中学生モデルロケット秋田県大会実行委員会	主催:中学生モデルロケット秋田県大会実行委員会 後援:秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、能代市教育委員会、横手市教育委員会、横手分校
	28日(水)	平成25年度 メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト「高齢社会を明るく元気に生きる」	湯沢ロイヤルホテル	どなたでも	79	秋田大学大学院医学系研究科長・教授 澤田 賢一 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域・老年看護学講座 教授 中村 順子 秋田大学教育文化学部教育心理学講座 教授 森 和彦	主催:横手分校 後援:湯沢市
9月	21日(土) 22日(日)	2013年度東北都市学会 横手大会	横手市交流センターY <sup>2</sup> ぶらざ	会員、一般	21日 50 22日 20		主催:東北都市学会、横手市 共催:日本都市学会 協力:横手分校
10月	21日(月)	秋田大学オフィシャルいぶりがっこづくり① 事前説明会	秋田大学	秋田大学生	2	教育文化学部生活者科学講座 教授 長沼 誠子 横手分校 分校長 根岸 均	地域創生センター 横手分校
	26日(土)	平成25年度 高齢者の健康増進プロジェクト 秋田大学 開放講座 1回目	横手市交流センターY <sup>2</sup> ぶらざ	65才以上の方	15 (定員)	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	主催:秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 協力:横手分校
	26日(土) 27日(日)	秋田大学オフィシャルいぶりがっこづくり② 大根収穫・漬け込み作業 1回目	横手市山内三又地区	秋田大学生	6		地域創生センター 横手分校
	27日(日)	中学生モデルロケット秋田県大会2013	能代市立東中学校	中学生	5 (3チーム)	中学生モデルロケット秋田県大会実行委員会	主催:中学生モデルロケット秋田県大会実行委員会 後援:秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、能代市教育委員会、横手市教育委員会、横手分校
11月	1日(金)	秋田県立大学教職科目「教職実践演習」での特別講師	秋田県立大学本荘キャンパス	秋田県立大学生	10	横手分校 分校長 根岸 均	秋田県立大学
	2日(土)	平成25年度 高齢者の健康増進プロジェクト 秋田大学 開放講座 2回目	横手市交流センターY <sup>2</sup> ぶらざ	65才以上の方	15 (定員)	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	主催:秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 協力:横手分校
	8日(金)	秋田県立大学教職科目「教職実践演習」での特別講師	秋田県立大学秋田キャンパス	秋田県立大学生	15	横手分校 分校長 根岸 均	秋田県立大学
	11日(月)	公益社団法人本荘法人会青年部会 税を考える週間協 力行事「法人会講演会」での講演	本荘グランドホテル	会員、一般	70	横手分校 分校長 根岸 均	公益社団法人本荘法人青年部会
	13日(水)	秋田大学オフィシャルいぶりがっこづくり③ ラジオ出演	秋田大学	秋田大学生	3		地域創生センター 横手分校
	17日(日)	秋田大学オフィシャルいぶりがっこづくり④ 大根収穫・漬け込み作業 2回目	横手市山内三又地区	秋田大学生	3		地域創生センター 横手分校
	21日(木)	平成25年度COC事業「聞き書きボランティア」 事前研修会	横手市交流センターY <sup>2</sup> ぶらざ	高校生、教員	40	講師:秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域・老年看護学講座 教授 中村 順子	COC事務局 横手分校
	23日(土) 24日(日)	平成25年度次世代地域活性化リーダー養成プログラム 「きたまえ塾」	増田地区多目的研修センター	秋田大学生、東北公益文科大学 大学生	18	横手分校 分校長 根岸 均	主催:秋田大学、東北公益文科大学
30日(土)	平成25年度 大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」 高校生対象事前オリエンテーション	横手市交流センターY <sup>2</sup> ぶらざ	高校生 関係者	32	横手南中学校 教頭 佐藤 宣延 // 教務主任 山本 伸洋 // 研究主任 佐藤 健司 横手分校 分校長 根岸 均	地域創生センター 横手分校	
12月	7日(土)	平成25年度 高齢者の健康増進プロジェクト 秋田大学 開放講座 3回目	横手市交流センターY <sup>2</sup> ぶらざ	65才以上の方	15 (定員)	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	主催:秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 協力:横手分校
	12日(木)	平成25年度 大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」 大学生対象事前オリエンテーション	秋田大学学生支援棟 2階 ミーティングルーム	大学生 関係者	10	横手分校 分校長 根岸 均	地域創生センター 横手分校
	22日(日)	平成25年度COC事業「聞き書きボランティア」 横手城南高校1回目ボランティア	城南高校	高校生	17		COC事務局 横手分校
	26日(木) 27日(金)	平成25年度 大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」 前半	横手南中学校	秋田大学生 高校生	24		地域創生センター 横手分校

1月	5日(日) 6日(月)	平成25年度 大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」 実習授業の事前練習会	横手市交流センターY <sup>2</sup> ふらざ	秋田大学生 高校生	22	横手分校 分校長 根岸 均	地域創生センター 横手分校
	8日(水)~ 10日(金)	平成25年度 大学生・高校生教職体験プログラム「教育ミニミニ実習」 後半	横手南中学校	秋田大学生 高校生	24		地域創生センター 横手分校
	10日(金) 11日(土)	平成25年度大学改革シンポジウム「地域力を生かした教員養成システム～教員養成秋田モデル&横手分校の取り組み～」	横手プラザホテル	教育関係者、 市民	70	地域創生センター	主催：国立大学法人秋田大学 共催：一般社団法人国立大学協会 後援：秋田県教育委員会、秋田県横手市教育委員会
	26日(日)	秋田大学オフィシャルいぶりがっこづくり⑤ 樽開け作業	横手市山内三又地区	秋田大学生	10		地域創生センター 横手分校
	28日(火)	平成25年度COC事業「聞き書きボランティア」 横手城南高校1回目の冊子贈呈、平成高校1回目ボランティア	横手市交流センターY <sup>2</sup> ふらざ	高校生	5		COC事務局 横手分校
2月	16日(日)	秋田大学オフィシャルいぶりがっこづくり⑥ 製品出荷準備作業	横手市山内三又地区	秋田大学生	6		地域創生センター 横手分校
	20日(木)	平成25年度COC事業「聞き書きボランティア」 平成高校1回目の冊子贈呈、2回目ボランティア	横手市交流センターY <sup>2</sup> ふらざ	高校生	5		COC事務局 横手分校
	23日(日)	横手市山内三又地区雪中運動会	横手市山内三又地区	秋田大学生	5		地域創生センター 横手分校
3月	1日(土)	琉球大学教育学部附属教育実践総合センター地域連携 事業部門報告会での特別講演	琉球大学 大学 会館 3階特別 会議室	行政関係者、学 校教員、琉球大 学教員、学生等	117	横手分校 分校長 根岸 均	国立大学法人琉球大学
	5日(水)	秋田大学オフィシャルいぶりがっこづくり⑦ 取引先店舗へ挨拶に訪問	取引先店舗	秋田大学生	3		地域創生センター 横手分校
	7日(金) 8日(土)	秋田大学オフィシャルいぶりがっこづくり⑧ 取引先店舗で販売開始、店頭での販売促進	取引先店舗	秋田大学生	4		地域創生センター 横手分校
	15日(土)	平成25年度秋田大学地域志向研究事業 特別公開講座「琴と箏」	横手市交流センターY <sup>2</sup> ふらざ	どなたでも	50	秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 武内 恵美子	主催：秋田大学教育文化学部音楽教育 講座 共催：横手分校



## 秋田大学横手分校に関する新聞記事(平成25年度)

No.	記事掲載日	新聞名	記事
1	8. 8	秋田魁	秋田大と北秋田、潟上、横手の3市 高齢化対応へ共同研究 9月から地域課題解決目指す
2	8. 10	秋田魁	社説 高齢化社会対応 大学の力、地域に生かせ
3	8. 22	毎日	講演・講座 メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト
4	8. 27	秋田魁	湯沢市 メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト
5	8. 30	秋田魁	高齢社会、明るく元気に 秋大教授ら湯沢で講演 医学や健康を解説
6	9. 7	秋田魁	コンパス 堅くない大学
7	9. 15	朝日	広告特集 東北の大学力2013 秋田大学
8	12. 7	読賣	教員養成システム 来月シンポジウム
9	12. 21	秋田魁	ここが聞きたい 地域課題解決 活性化への糸口探る
10	12. 28	秋田魁	未来の「先生」実習に挑戦 高校生、大学生学習補助、部活動も
11	12. 28	朝日	小さな実習 大きな経験 「先生の卵」高校・大学生ら 元不登校生と懇談も
12	1. 14	秋田魁	横手市でシンポ 教員養成在り方探る 大学教授、高校校長ら討論 総合的な授業力を危機こそ「チャンス」
13	1. 15	秋田魁	ひとときこの人と 視野広げ、教師目指す
14	1. 28	秋田魁	横手市 秋大生のいぶりがっこ「出来は上々」手際よく包装 3月上旬に販売
15	2. 25	読賣	特別公開講座「琴と筆」
16	3. 9	秋田魁	いぶりがっこどうぞ！ 秋大生と横手の農家連携 タカヤナギ県内16店舗 1500バック限定販売
17	3.11	読賣	さっぱり味の秋大がっこ



## 秋田大学横手分校 アクセスマップ





## 秋田大学横手分校

〒013-0036

横手市駅前町1番21号

横手市交流センターY<sup>2</sup>ぷらざ内

TEL 0182-38-8304 FAX 0182-32-4056

E-mail yokotebunko@city.yokote.lg.jp

編集・発行 秋田大学横手分校  
秋田大学地域創生センター

平成26年6月